

留萌市立病院
「いもる」誌
広報第十六号

いもる

imoru



困ったことはありませんか？

「コンシエルジュとして可能な限り患者さんのご要望を叶えたいのですが、病院のシステムや診療体制等の面でお受け出来ない事もあります。その場合、お詫びと説明をさせていただくのですが、ご納得いただけない事もあり、大変心苦しく感じることもあります。」

最後にメッセージを

● 統括マネージャーから

「コンシエルジュ業務は患者さんの外来窓口や検査室へのご案内、院内ラウンド等多岐にわたりますが、1番の励みとなるのは患者さんの笑顔です。これからも丁寧で温かい対応を心掛け弊社のブランボスローガンである「やさしさを私たちの強さにしたい」を心にきざみ患者さんのお役に立てるよう活動して参ります。」

● 副統括マネージャーから

「一人ひとりが病院の顔という自覚を持ち、患者さんに安心と信頼を感じていただけるような接遇を目指しております。」

「今後も、病院理念のもと、医事課職員と連携しホスピタリティを向上していきたいと思っております。」

● 医事課から

「地域に根ざした信頼される病院を目指します。」を目標に掲げ、留萌医療圏の中核病院として、適切な医療サービスの提供と経営改善に向け、患者満足度の向上や人工透析ベッドの拡充、地域包括ケア病床の導入など、院内多職種の協力を得ながら努力をしてきたところですが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染症対策に追われる日々となりました。」

特に、院長の迅速な判断により早い段階から、留萌医療圏唯一の第2種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス陽性患者の受け入れ体制を整え重点医療機関の指定も受けました。」

また、当院医事課は、保健所との連絡窓口を担当し、新型コロナウイルス陽性患者の受け入れや濃厚接触者の検査などの調整を担いました。」

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、地域の皆さんが安心安全に暮らせるよう引き続き医師・看護師はじめ院内多職種の協力を得ながら地域医療を守るため最善を尽くして参ります。」



今回のFOCUSは事務部医事課に
焦点を当てます。

事務部 医事課



医事課の仕事とは？

当院の医事課は、医事係、医療情報係で構成されています。医事係は、病院全体の診療体制を調整することや、診療報酬に基づいた正確な請求業務を行い患者動態や診療単価などから経営を分析し増収策を提案することが主な業務です。

医療情報係は、院内全体の医療機器や電子カルテなどのシステムやホームページの管理などを行っています。コロナ禍に需要が増えているオンライン面会も担当しています。

様々な業務を担っている医事課ですが、今回はコンシエルジエにスポットを当てます。

「コンシエルジエ」という言葉の語源はフランス語で「集合住宅の管理人」を意味しており、そこから発展し、今では「総合的なお世話係」という意味合いを持ちつつあります。

当院には、「総合案内」に「コンシエルジエ」を配属し、患者さんのお世話係として活躍しています。

コンシエルジエの役割は？

来院される患者さんが、安心して医療を受けられるように、最上級のおもてなしで院内外のご案内や誘導を行い、スムーズに受診ができるようにサ

ポートをしています。

また、院内ラウンドにより、待合の状況を把握し、お困りの患者さんへの積極的な声掛けや設備の不具合等がないかを確認しています。患者さんからの「ご意見」「ご要望」、院内設備についてなどを定期的に「コンシエルジエ業務レポート」を作成し、更なる患者サービス向上に繋げています。

一番心掛けていることは？

患者さんからのお問い合わせやご意見にしっかりと傾聴し、患者さんが何を望んでおられるかを把握し、適切にお応え出来るよう心掛けています。常に患者様の気持ちに寄り添った対応を実践できるよう日頃より準備しています。

患者さんからは、どのような要望がありますか？

受付方法や検査の場所などのお問い合わせが多くあります。その他、会計方法や問診記入、目的の地までの同行案内を希望される方もおられます。落とし物や忘れ物を患者さんと一緒にお探する事もあります。

看護師との連携は？

来院時や院内ラウンドで体調のすぐれない患者さんをお見

掛けした際には、患者さんより症状を伺い、ご本人に代わり看護師への状況報告と処置室へのご案内等、患者さんの安全を守るため、看護師との連携を常にとれる体制を整えています。

他の窓口担当者との連携は？

どの窓口で対応が必要か確認が必要な場合は、患者さんを直接窓口へ案内せず、窓口担当者へ確認の上ご案内を行っています。

「コロナ禍ということもあり、窓口の混雑を防止する目的と、患者さんの満足度向上のための待ち時間短縮につながるよう活動しています。

嬉しかったことはありますか？

患者さんから「あなたがいて助かった」「親切にしてくれてありがとう」と感謝のお言葉をいただいた時、嬉しい気持ちと同時に「コンシエルジエ業務のやりがいを感じます。

私たち「コンシエルジエ」からの提案が採用された時には、患者さんのお役に立てた事を嬉しく感じます。

SCT 《 SCT委員会の発足 》

今年度より医療安全推進室を主体とした新たな部会を発足しました。safety Communication Coordination Control teamと長い名称ですが、“C”が3つあることには理由があり、安全(safety)の、コミュニケーション(communication)と調節(coordination)と調整(control)の意味が込められています。

主な活動内容は、院内のあらゆる業務に対する改善を行うことを主軸とし、安全や感染管理に関わる環境整備などにも携わっていきます。委員を全職種対象として選出することで、院内全体を活性化させ、業務改善により全職員の就業満足度を上げることも目的としています。

医療業界ではタスクシェア・タスクシフトが話題となっていますが、当院SCTは、職種間の理解を深め、業務に対し十分な検討をし、双方納得のいくタスクシェア・シフトを行っていくことを心掛けています。単純な業務効率化だけではなく、満足度を向上させるということを最重要視している理由です。

そのほか、円滑な会議進行のためインターネットの利用や、付箋を活用したりと様々なミーティングの手法を取り入れ、留萌市立病院のグループワーキングの礎を築くことも目的としています。



小児アレルギー専門外来

2021年8月より、北海道では数少ない小児アレルギー専門外来を留萌市立病院で開設します。

アレルギー症状でお困りの方は、小児科医師または外来受付へご相談ください。

小児アレルギー専門外来 開始のお知らせ

2021年8月、北海道ではまだ数少ない、
小児アレルギー専門外来を留萌市立病院で始めます。
受付時間：午後1時30分～(偶数月第1木曜日) 場所：小児科外来

以下のような事でお困りの方は、小児科医師や外来受付に受診のご相談ください。

- ✓ 乳児湿疹がすっきりしない、湿疹や乾燥肌が長引いている
- ✓ 食べ物のアレルギーで困っている、アレルギーがあるかもしれない
- ✓ 運動や風邪で咳き込みやせーぜーする、喘息で困っている
- ✓ 年中、鼻みず・鼻づまり・口呼吸が気になる
- ✓ 花粉症が辛い
- ✓ 動物アレルギーとの上手な付き合い方を知りたい etc.



【医師紹介】

野上 和剛 (のがみ かずたか) 札幌医科大学小児科アレルギーチーム
2019年～2021年 国立三重病院アレルギーセンターに国内留学、
小児アレルギー学会理事長 藤澤陸夫先生の下で研修を積み、
2021年～ 北海道のアレルギーっ子的のために各地で奮闘中！

先生から一言

2011年～2013年まで留萌市立病院で初期研修をしていました。アレルギー専門診療を当院で始められる事を、感慨深く思います。自身もアトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息、アレルギー性鼻炎・結膜炎があり、大変な気持ちがよくわかります。お気軽にご相談下さい。

11月16日より、当院1階エレベーター前にセブンイレブンの自動販売機が導入されました。
売店が閉店している夜間に購入することができ、当直医や夜間従事者の小腹を満たすために大いに貢献してくれています。11時と17時に品入れをしているためいつでも新鮮なものが買えます。
販売しているのは食品ですが、どなたでも購入可能です。

食べ物 自販機の導入



● 臨時外来のご案内(発熱症状等)

現在、新型コロナウイルス及びインフルエンザ感染症予防対策のため、発熱及び風邪症状等のある方は、電話でご相談の上、一般外来とは分けて診察対応しておりますので、正面玄関入口を使用しないでください。

対象者	発熱及び風邪症状がある方
受付場所	臨時外来受付
診療時間	8:45 - 11:00 (平日のみ)
受付方法	事前に電話相談が必要です。担当看護師より、来院可能な時間をご案内し、詳しい症状等をお聞きいたします。
連絡先	0164-49-1011 (代表)

● 当院に通院される方へ

当院では、無症状性ウイルス感染症予防対策の一環として、下記の内容に該当する方は、一般外来とは分けて検査を行って頂きますので、正面玄関入口を使用しないでください。

対象者	2週間以内 に下記に当てはまる方が対象です。 <ul style="list-style-type: none"> ・当院以外で入院していた方 ・留萌市外で通院のある方
受付場所	臨時外来受付
受付方法	予約受診の前日までに電話相談が必要です。担当看護師より、来院可能な時間をご案内し、詳しい症状等をお聞きいたします。
問い合わせ時間	13:30 - 15:00 (平日のみ)
連絡先	0164-49-1011 (代表)



留萌での過ごし方

スポーツは、高校まではテニス、大学では親しい友人に勧められハンドボールに打ち込みま

釣り

病院コンサートも各地の赴任先でさせて頂いたことがあり、当院でも小さな形でもできないかと画策しておりますが、コロナ禍の時代ではなかなか厳しいですね。

パン作り

留萌に来てからはなかなか演奏活動はできていませんが、細々と個人練習は続けています。室内楽やアンサンブルも大好きで、様々な編成の経験もしてきました。

ゴルフ

留萌に来たからはなかなか演奏活動はできていませんが、細々と個人練習は続けています。室内楽やアンサンブルも大好きで、様々な編成の経験もしてきました。

バイオリン

留萌では、本格的にゴルフを始め、増毛と沼田のゴルフ場に、雪が降るまで足しげく通っていました。

多いうきには、ほぼ毎朝早起きして(自分でも信じられませんが...)留萌と増毛を往復する日々でした。

スコアが初めて100を切ったときの感動は今でも忘れられません。冬の期間も打ちっぱなしに通い、打ちまくっています。

釣りに、のめり込みました。最初は教えて頂きながらでしたが、一人でもちよこちよこ通うようになりました。

料理という点においても、色々な経験をさせて頂いています。

鮮魚店さんや漁港にお邪魔して時期の旬なもの・その日採れた新鮮なものを味わうことができたりと、幸せです。

『パンの生地を扱うときは、女性を扱うように丁寧に』とパン教室の先生から習いましたが、まさに『一人一人の患者さんに接するように丁寧に』を意識しています。

生地をこねることから発酵、成型、二次発酵、焼きの過程を経て行うパン作りは、麻酔と似たところがあると考えています。

中でも神居岩温泉は病院から近く、サウナも備わり、夜遅くまで営業していることもあり、勝手に『聖地』と崇めて日々通っています。

蕎麦と温泉が好きで、各地にめぐっています。

『パンの生地を扱うときは、女性を扱うように丁寧に』とパン教室の先生から習いましたが、まさに『一人一人の患者さんに接するように丁寧に』を意識しています。

趣味な話が大半でしたが、私には、一年通して様々な楽しみがあります。これからも仕事に興味に頑張ります。

冬にはスキーをするので、暑寒別岳スキー場で毎週パンバン滑っています。海を見てスキーができること、留萌から30分圏内での環境があることに感謝です。



手術の侵襲から患者さんを守り、合併症なく安全に周術期を過ごすことができるようお手伝いする。

留萌での過ごし方

麻酔とは? # 趣味

パン作り # ゴルフ

バイオリン # 釣り



麻酔科医
篠原 征史
しのはら たかし

麻酔とは?

留萌市立病院 麻酔科の篠原征史です。2021年4月より赴任し、日々の業務に励んでおります。今回は、麻酔とは何か、そして留萌での私の過ごし方について書かせて頂きます。

みなさまは「麻酔科医」と聞くとどんなことを考えますか？

あまり印象がないかもしれませんが、テレビドラマで麻酔科医の例を挙げると、ドクターXの内田〇紀や、〇龍の阿部サ〇ヲが演じている役です。

「手術のときに患者さんを眠らせる人」というイメージの方が多いのかと思います。

麻酔科医の仕事は多岐に渡ります。

手術室での麻酔(手術前の診察・手術後の診察を含む)、緩和ケア、パインクリニック、救急医療、集中治療、ドクターヘリといろいろな範囲に渡り必要とされています。

急性期から慢性期の様々な痛みに対する診療を広く行っているこ

とから、「痛みの専門家」と言われることもありますが、恥ずかしながら自分はまだまだその域には達しておりません。いつかたどり着きたい「域」だと考えております。

では、麻酔とは、何でしょうか？

簡単に言えば、「手術の侵襲から患者さんを守り、合併症なく安全に周術期を過ごすことができるようにお手伝いすること」だと考えています。麻酔は大きく分けると全身麻酔・区域麻酔に分類されますが、それぞれの良さを組み合わせ、手術を受けられる患者さんに最適な方法を考えて行っています。

手術室での麻酔業務の中では、主に神経ブロック(神経のすぐ近くに痛み止めのお薬を注射をすることで、ほぼ一日痛みを感じることなく過ごすことができる方法)や、経食道心工コーを用いた心臓手術の麻酔方法を学んできましたが、これまでに経験してきた救急医療・緩和

ケアやパインクリニックなどの知識も組み合わせ、手術を受けられる皆様にご提供できるように日々勉強しております。

留萌では地域柄・病院機能も含めて外科・整形外科・産婦人科の手術を受けられる方を担当させて頂くことが多いです。

一人一人の患者さんに真摯に寄り添い、手術前の診察から退院されるまでの期間を少しでも安心して過ごしていけるように、お手伝いさせて頂きます。

「留萌で手術を受けることができてよかった」「留萌で麻酔を受けることができてよかった」と一人でも多くの方に感じて頂けるように研鑽を積んでいきたいと考えています。

どんな些細なことでも構いませんので、不安なことやお聞きしたいことがあればいつでもお尋ねください。

診療スケジュール

2022年4月現在

曜日	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合内科	●	-	●	-	-	-	●	-	●	-
消化器内科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
循環器内科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
呼吸器内科 ※		●	-	●	●	-	-	●	●	-
神経精神科 ※	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-
小児科	●	●	●	-	●	●	●	-	●	●
外科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
整形外科	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-
産婦人科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
皮膚科	▲	●	●	-	-	-	▲	●	-	-
形成外科	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
泌尿器科	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科 ※	▲	▲	●	-	-	-	-	-	-	-
眼科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
脳神経外科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-

「●」 診療があります

「▲」 診療/休診や受付時間が異なります

「-」 休診です

「※」 完全予約制です

受付・診療時間

診療	午前 8:45 ~ 12:30	午後 1:30 ~ 5:15
外来受付	午前 8:15 ~ 11:30	午後 1:30 ~ 3:00
再来機受付	午前 8:15 ~ 11:30	午後 1:00 ~ 3:00

※ 診療科により受付・診療時間が異なりますので受診の際には、お問い合わせください。

留萌市立病院 

〒077-8511

北海道留萌市東雲町2丁目16番地1

TEL: 0164-49-1011

FAX: 0164-43-0337

ホームページ: <http://rumoi-hp.jp>